

# 第五次座間市総合計画ーざま未来プランー 進行状況

座間市  
令和7年8月

# 目次

はじめに	3
1 ざま未来プランの進捗管理について	4
(1) 進捗管理方法の見直し	4
(2) ざま未来プランの進捗管理	4
2 ざま未来プランの進捗管理における評価・検証方法について	5
(1) 内部検証	5
(2) 外部評価	5
輝く未来戦略	6
転入転出者（神奈川県人口統計調査 1月～12月統計）	7
人口（10月1日現在）	7
合計特殊出生率	8
外部評価	10
分野別政策・施策	11
政策1 共に学び、健やかに育つまちづくり	12
施策1 子育て世代包括支援	12
施策2 子どもたちの健全育成	13
施策3 保育	14
施策4 義務教育	15
外部評価	16
政策2 地域の魅力を高め、にぎわいのあるまちづくり	18
施策5 地域の魅力向上	18
施策6 市民協働	19
施策7 産業振興	20
外部評価	21
政策3 安全・安心で環境にやさしいまちづくり	23
施策8 安全・安心な生活環境の整備	23
施策9 防災・減災	24
施策10 地球温暖化対策の推進	25
施策11 資源循環の推進	26
施策12 消防力の強化	27
外部評価	29
政策4 健康に暮らせるまちづくり	30
施策13 健康医療	30
施策14 スポーツ	31
施策15 生涯学習・文化芸術	32
外部評価	33
政策5 共に認め合い、支え合うまちづくり	34
施策16 地域福祉	34
施策17 高齢者の支援	35
施策18 介護保険	36
施策19 障がい者の支援	37
施策20 生活困窮者の自立支援	38
外部評価	38

政策6 緑あふれる快適なまちづくり .....	39
施策21 都市計画 .....	39
施策22 市街地整備 .....	40
施策23 公園緑政 .....	41
施策24 道路 .....	42
施策25 上下水道 .....	43
外部評価 .....	43
政策7 持続可能な行財政運営 .....	45
施策26 行政経営 .....	45
施策27 情報発信 .....	46
施策28 基地政策 .....	46
施策29 デジタル化推進 .....	47
施策30 多様性社会への対応 .....	48
施策31 財政運営 .....	49
施策32 ファシリティマネジメントの推進 .....	49
外部評価 .....	50

## はじめに

本市は、令和5年3月に「ひと・まちが輝き 未来へつなぐ」を目指すまちの姿とする第五次座間市総合計画－ざま未来プラン－（以下「ざま未来プラン」という。）を策定しました。計画期間を令和5年度から令和12年度までの8年間とするざま未来プランは、市の最上位計画として位置付けており、人口減少の進行、地域社会の課題、激甚化・頻発化する自然災害等の基礎自治体を取り巻く社会情勢の変化に対応しながら、目指すまちの姿の実現に向けて総合的かつ計画的なまちづくりを行うための指針としています。

この度、ざま未来プランに掲げる政策及び施策について、効率的かつ効果的に計画を推進していくに当たり、本市の現状を確認するものとして令和6年度決算における実績を踏まえた令和7年6月末現在の進行状況を取りまとめました。これらの政策及び施策の進行状況を踏まえながら、今後もざま未来プランを着実に推進していきます。

## 1 ざま未来プランの進捗管理について

### (1) 進捗管理方法の見直し

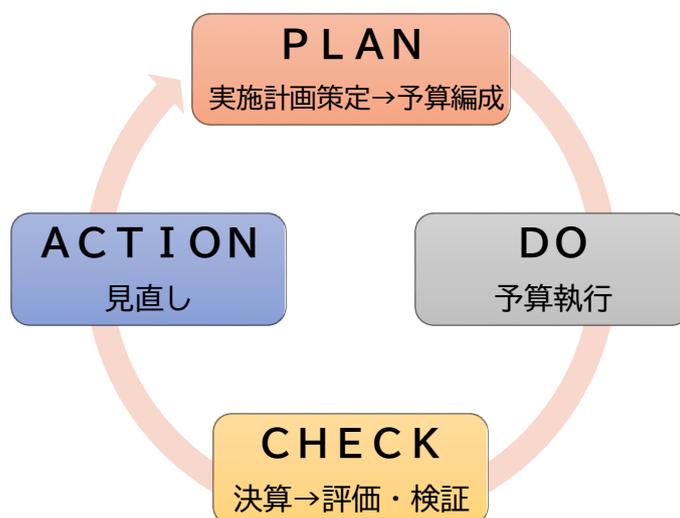
第四次座間市総合計画においては、行政活動の改善を目的に平成14年度から導入した行政評価システムを総合計画の進捗管理ツールとして位置づけていました。

一方、令和2年度行政評価における外部評価委員総評では、「行政評価の仕組みには、改善が必要と思われる点がいくつか存在します。」とコメントがなされており、行政評価そのものが目的化することを避け、業務の効率化や質の向上につなげていくべきとの観点から、令和5年3月のざま未来プラン策定に併せて進捗管理の方法を見直すこととしました。

### (2) ざま未来プランの進捗管理

ざま未来プランの進行状況を確認するツール（手段）が、市民、職員等にとって分かりやすく簡潔であるとともに、実施計画、予算、決算等が連動した効果的な仕組みとなるPDCAサイクルを構築します。

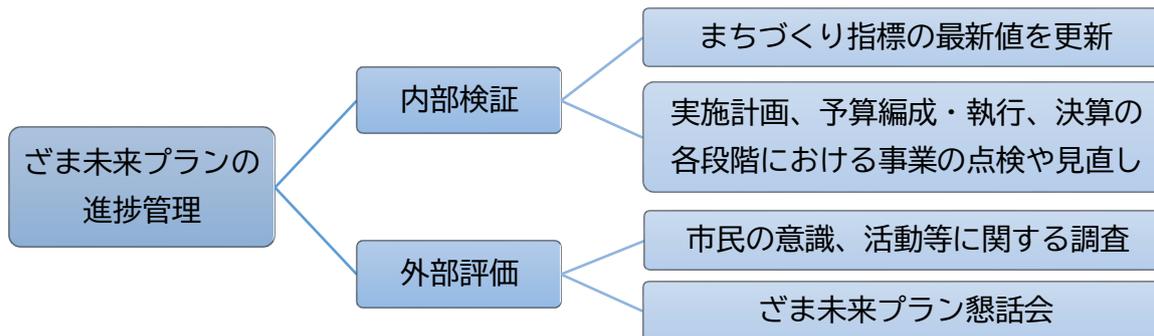
なお、これまで「行政評価システム」と「総合計画の進捗管理」を使い分けてきましたが、ざま未来プランの進捗管理を行うことが一般的な行政評価の仕組みそのものであることから、一般用語として馴染みの薄い「行政評価システム」という用語は使わずに「ざま未来プランの進捗管理」と表現を統一します。



**CHECK**  
決算→評価・検証

**CHECK**（決算→評価・検証）の段階で事業の成果及び予算執行の結果を連動させ、目指すところは「ざま未来プランの実現」と共通認識を持つことができれば、その後の**ACTION**（見直し）、**PLAN**（実施計画→予算編成）で何をすべきか明確になります。

## 2 ざま未来プランの進捗管理における評価・検証方法について



### (1) 内部検証

ざま未来プラン基本構想で掲げる目指すまちの姿の実現に向け、政策及び施策の計画体系に則した事業の執行に必要な組織体制を整備し、計画体系と組織の連動により、政策や分野ごとの課題への対応や責任体制を明確にしています。

各施策を担当する課では、まちづくり指標の進捗状況を管理しており、令和7年4月から6月までの期間で最新値を確認し更新しました。

また、まちづくり指標の最新値、令和6年度に実施した事業の実績・成果等を踏まえ、施策の実現に向けた課題及び課題を解決するための今後の取組方策を整理することで、事業の点検や見直しを行っています。

### (2) 外部評価

#### ① 市民の意識、活動等に関する調査（LINEアンケート）

- ・目的：LINEを活用した市民の意識、活動等に関する調査の実施により、ざま未来プランで目指すまちの姿「ひと・まちが輝き 未来へつなぐ」を実現するために掲げる政策及び施策の進捗状況等の把握を目的とする。
- ・実施期間：令和7年4月17日（木）から令和7年4月26日（土）まで（10日間）
- ・実施方法：LINEのアンケート機能を使用して市民アンケートを作成し、座間市LINE公式アカウントの友だち登録者のうちメッセージの受信設定が有効になっている84,818人に対して配信。※無記名調査
- ・回答結果：回答者数 3,103人（うち市内在住者 3,015人）

#### ② ざま未来プラン懇話会

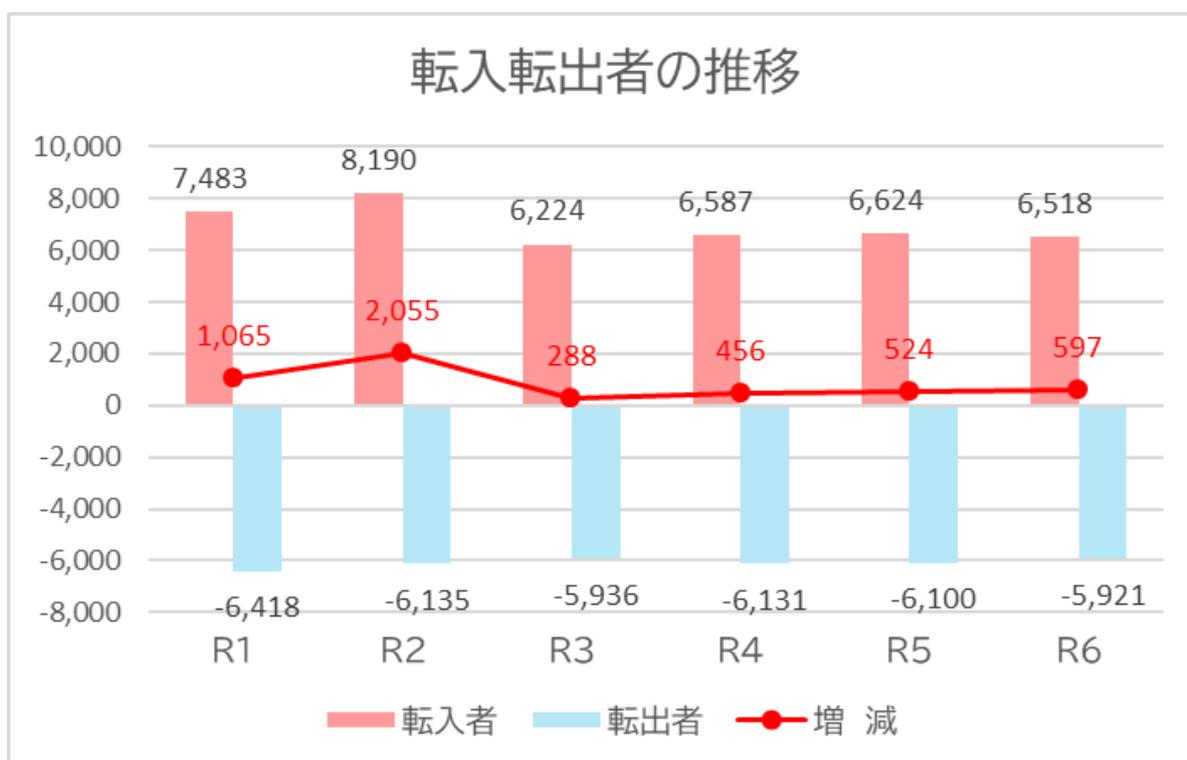
- ・目的：ざま未来プランで掲げる政策及び施策の進捗状況の検証並びにその評価等に関し、様々な分野における有識者等から意見を聴取することを目的とする。
- ・日時：令和7年7月4日（金）13時～15時
- ・場所：座間市役所 5階 5-4, 5-5会議室
- ・出席委員：公募市民、市民団体、民間企業等 計9人

# 輝く未来戦略

輝く未来戦略は、目指すまちの姿の実現に向けて、特定の政策や施策にとらわれずに分野横断的に取り組むものであるため、数値目標は設定せずに「転入転出者」、「人口」及び「合計特殊出生率」を時点における達成状況を把握するための参考指標としています。

### 転入転出者（神奈川県人口統計調査 1月～12月統計）

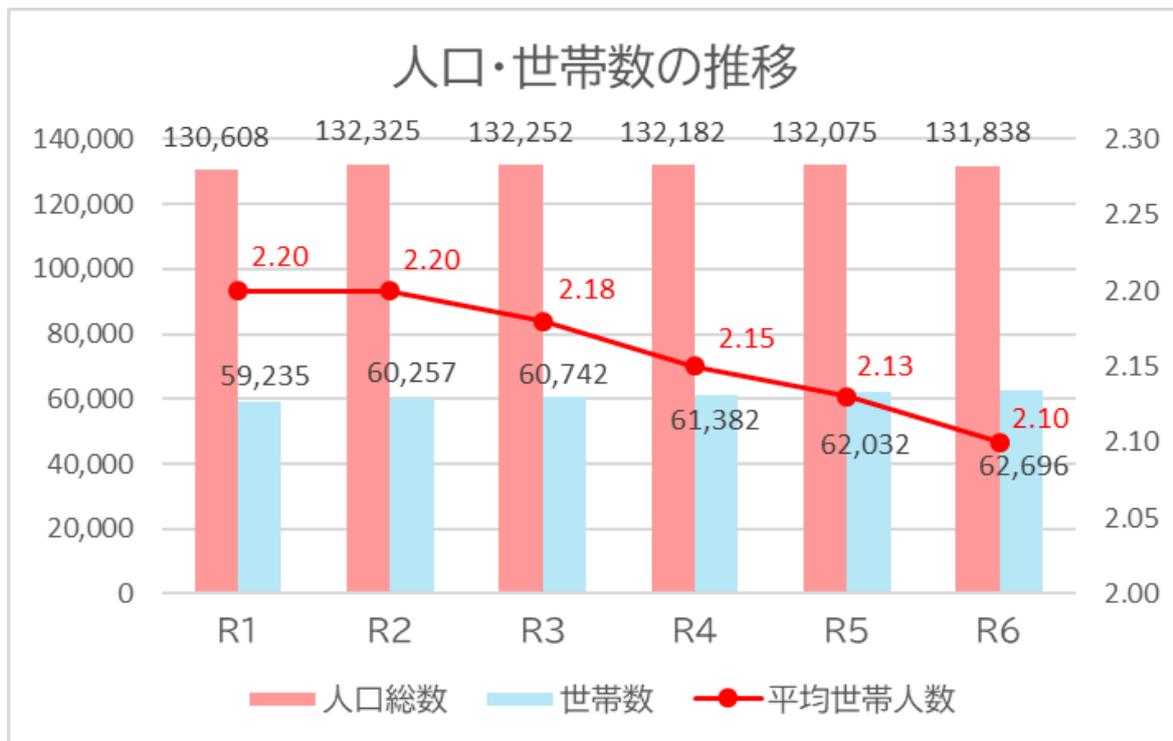
	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
転入者（人）	7,483	8,190	6,224	6,587	6,624	6,518
転出者（人）	6,418	6,135	5,936	6,131	6,100	5,921
増減（人）	1,065	2,055	288	456	524	597



### 人口（10月1日現在）

	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
人口総数（人）	130,608	132,325	132,252	132,182	132,075	131,838
世帯数（世帯）	59,235	60,257	60,742	61,382	62,032	62,696
平均世帯人数（人）	2.20	2.20	2.18	2.15	2.13	2.10

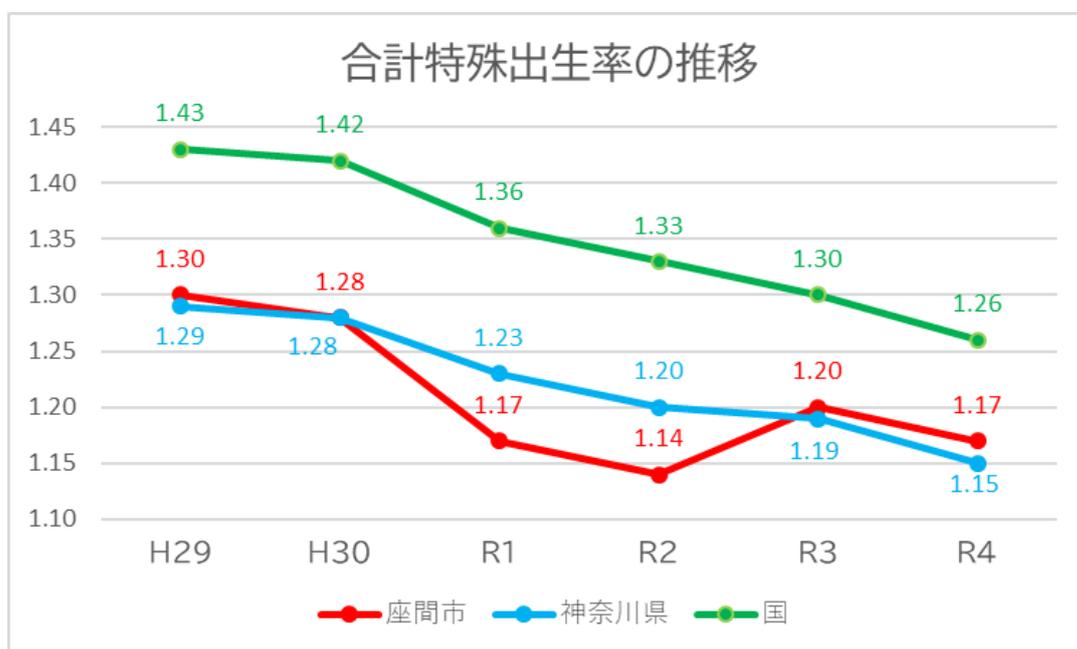
※ 人口及び世帯数は、平成27年及び令和2年国勢調査確報値を基礎として住民基本台帳法及び戸籍法に定める届け出等の増減を加減して推計したものです。



#### 合計特殊出生率

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
座間市	1.30	1.28	1.17	1.14	1.20	1.17
神奈川県	1.29	1.28	1.23	1.20	1.19	1.15
国	1.43	1.42	1.36	1.33	1.30	1.26

※ 座間市及び神奈川県の数値は神奈川県衛生統計年報から、国の数値は厚生労働省人口動態統計から引用しています。



## “ひと”が輝く

ひとがつながり、市民力が高まり、  
一人一人が活躍するコミュニティを目指します。

### ● コミュニティ・スクール推進事業

研修会では具体的な講義や模擬熟議により理解を深めたほか、学校運営協議会の場でも助言を行うことで、学校運営協議会委員及び教職員の意識変容が進みました。

### ● シティプロモーション推進事業

座間市にゆかりのある著名人にちなんだイベントを開催し、郷土愛の醸成に努めました。また、Instagramを通じて市内の魅力あるスポットやイベントを市内外に発信しました。

### ● 総合計画推進事業

実施計画事業の予算化を基本として、本市を取り巻く環境の変化に対応しながら着実に行政経営を行いました。また、市民、職員等にとって分かりやすい進捗管理に努めました。

## “まち”が輝く

暮らしに喜びが溢れ、快適に住み続けられるまちを目指します。

### ● ゼロカーボン推進補助事業

事業者に対する電気自動車購入補助金や、店舗や事務所等への太陽光発電システム導入支援補助金を新たに開始し、省エネ、再エネ設備の導入を促進しました。

### ● ファシリティマネジメント推進事業

包括施設管理業務委託の導入により、公共施設等の維持管理水準の向上、業務の効率化等を進めました。また、社会情勢の変化等を反映するため、座間市公共施設再整備計画の見直しに着手しました。

## “未来へつなぐ”

子どもたちの夢が叶えられる、希望に溢れる社会を目指します。

### ● 地域少子化対策推進事業

所得制限のない出産・子育て支援金（すくすく給付金、移動支援給付金）を支給し、妊婦及び子育て世帯を支援しました。

### ● 保育所子ども・子育て支援事業

民間保育所等のニーズに合致したものとなるよう座間市民間保育所運営費補助金交付要綱を改正し、民間保育所等の運営を支援することで民間保育所の経営の安定化に努めました。

### ● 教育相談事業

小学校に教育相談員を派遣し、児童の登校支援や別室での学習支援等をしたことで心理面の安心が確保され、学校生活での変化が見られました。

● 小児医療費助成事業

満18歳に達して以降の最初の3月31日までの医療費を所得制限なく助成し、小児等の健やかな成長及び保護者の経済的負担の軽減に寄与しました。

● 子育て支援特別給付金支給事業

受給者235人（延児童数2,687人）に給付金を支給することで、子育て世帯の生活の安定及び児童の健やかな成長に寄与しました。

● 住宅リフォーム助成事業

子育て世帯等が居住する住宅のリフォームに要する工事金額の一部補助をすることで、子育て環境の充実及び子どもたちを支える地域経済の活性化につながりました。

## 外部評価

● 現状や今後の方策に関する意見等

### 人口減少の克服

- ・ 人口減少への対応としては、減少を食い止める取組とその状況に適応する取組が必要である。
- ・ 人口減少を食い止めるために県内では子育て政策の競争が激化しているが、それも限界があるので地域をブランド化する取組を行い、座間に住むことのイメージを持ってもらうことが重要である。
- ・ 減少に適応するために学校・公共施設を市民生活に影響がでないようにどう規模を縮小していくかについて、10年後、20年後の座間の姿を起点に今どうするべきかという考え方が重要である。

※ 輝く未来戦略及び各政策の外部評価の意見は、ざま未来プラン懇話会委員から具体的な施策について御意見があったものを掲載しています。

# 分野別政策・施策

## 政策1 共に学び、健やかに育つまちづくり

共に学び、健やかに育つまちづくりを実現するために、4施策と9のまちづくり指標を設定しています。

政策1に関する市民の評価（市民満足度）は、政策が実現されていると思う市民の割合が30%で、昨年度から変動はありません。まちづくり指標のうち、目標達成が1指標、進捗が3指標、後退が5指標でした。

各施策におけるまちづくり指標の進捗や外部評価を踏まえながら、今後も施策の方向性に沿った取組を進めます。

**施策1** 市内の子育て支援センターの利用者数は増加しており、赤ちゃん訪問の実施率は目標達成していますが、出張相談会相談件数は減少しています。

**施策2** 児童ホーム待機児童数は増加しており、青少年育成事業の参加者数は減少しています。

**施策3** 保育所の待機児童数は減少しています。懇話会では保育サービスの充実（保育所）や保育従事者の確保に関する意見がありました。

**施策4** 学校生活が楽しいと思っている児童生徒の割合は増加しており、地域の人々の理解と協力を得た学校運営ができていると感じる教職員の割合及び地域の人々の理解を得た学校運営ができていると感じる保護者の割合は低下しています。

### 施策1 子育て世代包括支援

こども家庭課

#### ● 施策の方向性

1 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援やサービスを提供します。

#### 《まちづくり指標》

子育て支援センター利用者数					単位	人
市内の子育て支援センターの利用者数（年間）					基準値	R3 25,354
					目標値	R12 38,000
実績値	R3 25,354	R4 26,389 ↑	R5 32,457 ↑	R6 36,150 ↑		

赤ちゃん訪問の実施率					単位	%
赤ちゃんがいる世帯に対して実施する新生児訪問・乳児家庭全戸訪問・未熟児訪問の実施率（年間）					基準値	R3 97.1
					目標値	R12 100
実績値	R3 97.1	R4 95.4 ↓	R5 100.7 ◎	R6 110.1 ◎		

出張相談会相談件数					単位	人
子ども・子育て支援として実施している利用者支援事業（基本型）出張相談会の相談件数（年間）					基準値	R3 75
					目標値	R12 720
実績値	R3 75	R4 192 ↑	R5 937 ↑	R6 662 ↓		

● 令和6年度の主な事業に係る成果

事業名	次世代育成支援相談事業
事業概要	親の抱える育児上の疑問、不安、心配事に対し、専門相談員を配置し、適切に関係機関と対応する。
成果	家事や育児に不安や負担を抱える子育て世帯等を支援するため、訪問支援員を派遣した。

● 施策の実現に向けた現状の整理

目指す将来像と現状とのギャップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援が必要と考えられる家庭に支援が届きにくい、届かない。</li> <li>・家庭の状況により必要な支援が多様化・複雑化しており、支援の担い手の確保や定着が困難となっている。</li> <li>・こども家庭センター内での情報連携</li> </ul>
今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て家庭に向けた支援を関係機関に周知していくことで、支援が届きにくい家庭にも多方面からアプローチできるよう進める。</li> <li>・地域における子育て支援活動の安全性と実効性を高めるため、関係機関と連携し、活動体制の整備や支援者研修、利用家庭への丁寧な説明を通じて、支援者の定着と安心して利用できる環境づくりを進める。</li> <li>・こども家庭センターの最適化を進める。</li> </ul>

施策2 子どもたちの健全育成 こども育成課

● 施策の方向性

1 子どもたちが健やかに育つ環境づくりを推進します。

《まちづくり指標》

児童ホーム待機児童数				単位	人
児童ホーム利用申込に対する待機児童数（4月1日現在）				基準値	R4 64
				目標値	R12 0
実績値	R3 32	R4 64 ↓	R5 49 ↑	R6 46 ↑	R7 72 ↓

青少年育成事業の参加者数				単位	人
青少年フェスティバル・青少年芸術祭・成人式・青少年センター主催事業の参加者数（年間）				基準値	R3 2,514
				目標値	R12 8,000
実績値	R3 2,514	R4 6,868 ↑	R5 7,311 ↑	R6 3,862 ↓	

● 令和6年度の主な事業に係る成果

事業名	児童ホーム運営事業
事業概要	共働き世帯など留守家庭の就学児童に対して、学校の教室、児童館、コミュニティセンターなどを利用し、放課後の適切な遊び及び生活の場として、児童ホームを運営する。
成果	相武台コミュニティセンター内に待機用児童ホームを新設し、相武台地区における入所定員を拡大した。

● 施策の実現に向けた現状の整理

目指す将来像と現状とのギャップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティセンターや児童館内にある児童ホームは、施設の大規模改修時に一時移転が伴うため、安定した運営が難しくなる。</li> <li>・放課後の児童の居場所についてのニーズが高まっており、供給が追い付いていない。</li> </ul>
今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童ホームが一時移転等する場合は、関係者との調整や保護者への説明を実施し、円滑に事業を進める。</li> <li>・放課後子ども教室の週3回実施校を段階的に増やし、全校が実施できるように各小学校と調整を進める。</li> <li>・児童ホームの学校内移転を進める中で受入定員数の拡大へ向け、関係機関との調整に努める。</li> </ul>

施策3 保育

保育・幼稚園課

● 施策の方向性

1 保育所の待機児童を解消します。

《まちづくり指標》

保育所の待機児童数						単位	人
保育所等利用申込に対する待機児童数（4月1日現在）						基準値	R4 50
						目標値	R12 0
実績値	R3 59	R4 50 ↑	R5 50 →	R6 30 ↑	R7 25 ↑		

● 令和6年度の主な事業に係る成果

事業名	民間保育所整備助成事業
事業概要	待機児童解消のため、民間活力による保育園の新設、増改築による定員増、地域型保育施設を整備し、入所児童数を増やすための助成を行う。また、老朽化が進んだ園舎設備について、保育環境を保持するための修繕等にも助成を行う。
成果	民間保育所の防犯強化や老朽化による修繕への助成を行い、保育施設の安全性や保育環境の向上に努めた。また、既存の民間保育所の分園整備に助成し、令和7年6月に開園した。このことにより、20人の定員増につながった。

事業名	保育業務支援システム導入事業
事業概要	市立保育園へ保育業務支援システムを導入することにより、利用者の利便性向上及び職員の負担軽減をする。
成果	市立保育園全園でICTシステムを導入し、登降園や欠席連絡、園からのお知らせ等をデジタル化することにより、利用者の利便性を向上し、職員の負担を軽減した。

● 施策の実現に向けた現状の整理

目指す将来像と現状とのギャップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化により出生数は毎年減少している中、令和6年度以降、保育所入所定員数を30人増やしてきたが、保育所利用の申込者数は増加しており、需要に対し供給が追い付いていない。</li> <li>・医療的ケア児やこども誰でも通園制度への対応、災害時のエッセンシャルワーカー等の支援といった保育行政を取り巻く環境への対応。</li> </ul>
今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の実情に即した児童の受け入れ体制を強化するため、小規模保育施設等の新設により利用可能な定員を増やすなど、供給量の拡大に向けた取組を検討する。</li> <li>・特別保育等の実施拡充に向けて、将来的な公立保育園の在り方を踏まえた再整備や民間事業者の活用等の方針について検討する。</li> <li>・民間保育所の保育士確保の一助となるよう、給付金を支給する。</li> </ul>

施策4 義務教育

教育総務課、就学支援課、教育指導課、教育研究所

● 施策の方向性

1 児童生徒が学校で楽しく生活できる環境づくりに努めます。

《まちづくり指標》

学校生活が楽しいと思っている児童生徒の割合					単位	%
アンケートで「学校生活が楽しいと思っている」と回答した児童生徒の割合（調査時点）					基準値	R4 88
					目標値	R12 92
実績値	R3 —	R4 88	R5 88.6 ↑	R6 89.3 ↑		

2 地域とともにある学校づくりを目指します。

《まちづくり指標》

地域の人々の理解と協力を得た学校運営ができていると感じる教職員の割合					単位	%
アンケートで「地域の人々の理解と協力を得た学校運営ができていると感じる」と回答した教職員の割合（調査時点）					基準値	R4 89
					目標値	R12 93
実績値	R3 —	R4 89	R5 91.3 ↑	R6 90.4 ↓		

地域の人々の理解と協力を得た学校運営ができていると感じる保護者の割合				単位	%	
アンケートで「地域の人々の理解と協力を得た学校運営ができていると感じる」と回答した保護者の割合（調査時点）				基準値	R4	79
				目標値	R12	83
実績値	R3	—	R4	79	R5	83.7 ◎
					R6	82.6 ↓

● 令和6年度の主な事業に係る成果

事業名	小学校各種行事等活動事業
事業概要	小学校の学校行事を運営する。
成果	小学校（一部）の水泳指導に民間屋内プールを活用することで、計画的に実施することができた。また、専門的な指導者による指導協力と引率者減により、教員の負担軽減につながった。

● 施策の実現に向けた現状の整理

目指す将来像と現状とのギャップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設の老朽化や社会環境の変化、ニーズの多様化に伴い、学校運営や財政への負担が高まっている。</li> <li>・地域とともにある学校づくりのため、学校運営協議会を活用し、地域と学校がコミュニティ・スクールの意義をより深く共有する必要がある。</li> <li>・休日の部活動地域移行に向け、指導者や活動場所、費用負担などの課題を整理し、持続可能な体制を整えることが求められている。</li> <li>・不登校児童・生徒数が増加傾向にある。</li> </ul>
今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設の老朽化や社会環境の変化、ニーズの多様化に対応できるよう、計画的に事業を進めていく。</li> <li>・地域とともにある学校づくりを進めるため、各校の学校運営協議会の理解が深まるような取組を行う。</li> <li>・部活動地域展開の体制構築に向けた情報収集・協議を進める。</li> <li>・教育支援教室の分教室の開設や校内教育支援センターを全校に設置にするよう努める。</li> </ul>

外部評価

● 市民満足度（市民の意識、活動等に関する調査）

政策1 共に学び、健やかに育つまちづくりが実現されていると思うか

	全体	思う	思わない	どちらでもない
回答者数	3,015人	900人	822人	1,293人
構成比	100%	30%	27%	43%

前年度：「思う」30%

## ● 現状や今後の方策に関する意見等

### サービスの充実

---

- ・ 交通の利便性が高い首都圏では、地方に比べ居住地の異動が活発なため、自治体間で子育て政策による競争が起きていて、今後もその動きは強まると思われる。
- ・ 夏の暑さなどによって、子ども達が外で遊ぶ場所・機会が減ってきている。市内には商業施設や空き家など、活用できそうな場はある。民間と連携した取り組みを行うことで子どもの居場所をつくる必要がある。
- ・ 少子化により保育サービスを必要とする子ども達が減少しても、多様性に応じた保育サービスが求められるため、今後も保育サービスの充実は必要になる。

### 保育従事者の確保

---

- ・ 全国的に保育士不足が問題視されている。
- ・ 潜在保育士や保育士の資格はないが保育サービスに従事する人（例えば、定年後に第2の仕事として保育の補助に入る人）の掘り起こしだけでなく、新たに保育士を志す人達の育成に取り込む必要がある。
- ・ 自治体や保育士養成校、保育の現場が互いに情報を共有し合い、いかに保育士や保育福祉の従事者を確保して、長く勤めてもらうか対策する必要がある。

## 政策2 地域の魅力を高め、にぎわいのあるまちづくり

地域の魅力を高め、にぎわいのあるまちづくりを実現するために3施策と11のまちづくり指標を設定しています。

政策2に関する市民の評価（市民満足度）は、政策が実現されていると思う市民の割合が28%で、昨年度から1ポイント低下しました。まちづくり指標のうち、前進が5指標、後退が4指標、更新なしが2指標でした。

各施策におけるまちづくり指標の進捗や外部評価を踏まえながら、今後も施策の方向性に沿った取組を進めます。

**施策5** 座間市に愛着や誇りを持っている市民の割合及び入込観光客数は上昇及び増加しており、特産品等認定数及びふるさと納税返礼品送付件数は低下及び減少しています。懇話会では市のPRに関する意見がありました。

**施策6** 市民参加手続数は減少しており、協働事業に資する協定数は更新していません。コミュニティ施設利用者数は増加しており、地域活動に参加した人の割合は低下しています。懇話会では協働のまちづくりに関する意見がありました。

**施策7** 製造品出荷額等及び担い手への農地の集積面積は増加しており、商業事業所数は更新していません。懇話会では産業の活性化や農業の今後に関する意見がありました。

### 施策5 地域の魅力向上

### 地域プロモーション課

#### ● 施策の方向性

1 シティプロモーションを推進し、郷土に対する愛着と誇りの醸成や地域資源の活用に取り組みます。

《まちづくり指標》

座間市に愛着や誇りを持っている市民の割合				単位	%		
アンケートで「座間市に愛着や誇りを持っている」と回答した市民の割合（調査時点）				基準値	R4	69	
				目標値	R12	75	
実績値	R3	—	R4	69	R5	65 ↓	
				R6	66 ↑	R7	67 ↑

特産品等認定数				単位	件	
特産品、推奨品として認定されている品目数（3月31日現在）				基準値	R4	24
				目標値	R12	34
実績値	R3	24	R4	24 →	R5	29 ↑
				R6	27 ↓	

2 関係人口や交流人口の拡大に取り組みます。

《まちづくり指標》

入込観光客数				単位	人	
市内を訪れた観光客数（年間）				基準値	R3	109,790
				目標値	R12	512,000
実績値	R3	109,790	R4	140,020 ↑	R5	301,203 ↑
				R6	329,918 ↑	

ふるさと納税返礼品送付件数					単位	件
ふるさと納税に対する返礼品の送付対象となった寄附件数（年間）					基準値	R3 2
					目標値	R12 12,000
実績値	R3 2	R4 2,013 ↑	R5 3,487 ↑	R6 781 ↓		

● 施策の実現に向けた現状の整理

目指す将来像と現状とのギャップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市への愛着や誇りを持つ市民の割合にはまだ広がり余地がある。</li> <li>・市内事業者の特産品認定事業への認知度は十分ではなく、知らない市民も多い。</li> <li>・潜在的な魅力・観光資源が発掘できていない。</li> <li>・ふるさと納税で座間市を応援したい人は一定数いるものの、さらなる広がりが期待される。</li> </ul>
今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS等を活用し座間市の魅力や日々の取り組みをアピールしていくほか、新たなふるさと納税返礼品事業者の開拓と新たな返礼品の開発を進める。</li> <li>・関係団体と協力し新たな観光資源を発掘する。</li> </ul>

施策6 市民協働

市民協働課

● 施策の方向性

1 市民等と行政が対等の立場で役割と責任を担い合い、協働してまちづくりを推進します。

《まちづくり指標》

協働事業に資する協定数					単位	協定
座間市市民協働推進条例第7条に基づく協働事業により締結されている協定数（4月1日現在）					基準値	R4 164
					目標値	R12 197
実績値	R3 —	R4 164	R5 164 →			

市民参加手続数					単位	件
座間市市民参加推進条例第6条に基づき行った市民参加手続数（年間）					基準値	R3 24
					目標値	R12 30
実績値	R3 24	R4 34 ◎	R5 26 ↓	R6 19 ↓		

2 市民等が主体的に地域活動等を実践できるように支援します。

《まちづくり指標》

コミュニティ施設利用者数					単位	人
市内のコミュニティセンター及びプラっとざまの利用者数（年間）					基準値	R3 153,858
					目標値	R12 332,000
実績値	R3 153,858	R4 173,829 ↑	R5 216,458 ↑	R6 235,526 ↑		

地域活動に参加した人の割合						単位	%
アンケートで「地域の活動に参加した」と回答した市民の割合（調査時点）						基準値	R4 33
						目標値	R12 50
実績値	R3 —	R4 33	R5 38 ↑	R6 41 ↑	R7 37 ↓		

● 令和6年度の主な事業に係る成果

事業名	コミュニティセンター大規模改修事業
事業概要	経年劣化したコミュニティセンターの大規模改修工事を実施する。
成果	相武台コミュニティセンターの改修工事に着工しました。また、立野台コミュニティセンターの改修工事設計を行った。

● 施策の実現に向けた現状の整理

目指す将来像と現状とのギャップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民等と一緒にまちづくりを進めていくという、職員や市民のまちづくりへの関わり方にまだ広がりや余地がある。</li> <li>・コミュニティ施設の利用者数を増やすために、市民等が継続的に利用できる環境づくりが十分とは言えない。</li> </ul>
今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民協働の理念や市民参加の方法について、研修等により市民、職員等に伝えていく。</li> <li>・老朽化した施設の計画的な改修及び修繕等に取り組む。また、コミュニティセンター及びプラッとざまで実施している自主事業についても、市民のニーズに的確に応えられるよう、指定管理者との意見交換を随時行う。</li> </ul>

施策7 産業振興 産業振興課

● 施策の方向性

1 関係機関と連携し、商業及び工業の活性化を支援します。

《まちづくり指標》

製造品出荷額等						単位	百万円
市内の工業における製造品の出荷額等（年間）						基準値	R1 289,493
						目標値	R12 293,828
実績値	R3 226,685 ↓	R4 244,075 ↑					

商業事業所数						単位	事業所
市内の卸売業、小売業、飲食サービス業及び生活関連サービス業の事業所数（6月1日現在）						基準値	H28 1,374
						目標値	R12 1,408
実績値	R3 1,302 ↓	R4 —	R5 —				

## 2 耕作農地の規模拡大や地産地消の推進による農業経営の安定化を支援します。

### 《まちづくり指標》

担い手への農地の集積面積				単位		h a		
農業の担い手が農地を借り受けている面積（3月31日現在）				基準値		R3	19.5	
				目標値		R12	39	
実績値	R3	19.5	R4	14.1 ↓	R5	16.3 ↑	R6	17.7 ↑

### ● 施策の実現に向けた現状の整理

目指す将来像と現状とのギャップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商工業者の売上向上、経営改善を促進するための関係機関（商工会、商店会連合会等）への支援制度。</li> <li>・ 後継者不足による遊休農地が発生している。</li> </ul>
今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業者の売上を向上させ、事業の継続、発展を図るため、中小企業支援施策の拡充を検討する。また、関係機関に対する支援を拡充し、事業者の支援体制を強化する。</li> <li>・ 既存事業を見直し、人材不足に対応する施策を検討する。</li> <li>・ 農地が利用されやすくなるよう地域での話合いで策定した地域計画（目標地図）を農業委員会と連携しながら推進し、農地の利用集積や遊休農地の解消等を図る。</li> <li>・ 農業者や生産組合等のニーズに合わせた支援を行い、担い手への施策の重点化、担い手の経営不安の解消を図る。</li> <li>・ 農作業の効率化、省力化、生産コストの削減を図るための集約農地の大区画化等、簡易整備事業を実施し、農地の集積・集約化を促進する。</li> </ul>

## 外部評価

### ● 市民満足度（市民の意識、活動等に関する調査）

#### 政策2 地域の魅力を高め、にぎわいのあるまちづくりが実現されていると思うか

	全体	思う	思わない	どちらでもない
回答者数	3,015人	854人	1,143人	1,018人
構成比	100%	28%	38%	34%

前年度：「思う」29%

### ● 現状や今後の方策に関する意見等

#### 市のPR

- ・ 座間市は首都圏であり、地方都市と比べて住民の移動が流動的である。人口減少への対策としてシティプロモーションによるイメージ戦略は重要である。
- ・ 市LINE公式アカウントの友だち登録者数はかなりの数に達していて、有効活用しない手はない。市民以外の人でも登録していると考えられる。市内・外の両側面からプロモーションに有効活用できると良い。

- ・ 行政を身近に感じてもらうことで郷土愛の醸成に繋がる。市の取組を多重的に市民へPRしていくことが必要である。
- ・ 入込観光客数はひまわりまつりがそれなりの割合を占めている。ひまわりの種まきから栽培まで担っているのは農家であり、高齢な方が多い。このままだと持続が困難であり、対策が必要である。
- ・ 常に足を運べる観光資源に乏しい。

#### 協働のまちづくり

---

- ・ コミュニティ施設の利用者数が増加していることについて、どういった要因があって増えているのかより一層、深い分析をし、施策や事業の推進に生かすことが求められる。

#### 産業の活性化

---

- ・ 主に物流に関わる事で、座間市全体の道路事情として、市外へ行くのに踏み切りを越えなければならないのがネックになっている。南林間線が開通すると緩和されるので、期待が寄せられている。

#### 農地振興

---

- ・ 農地の集積面積は増加しているが、担い手は高齢な方が多く、後継者不足。数字以上に農業の実態は厳しい。

## 政策3 安全・安心で環境にやさしいまちづくり

安全・安心で環境にやさしいまちづくりを実現するために、5施策と13のまちづくり指標を設定しています。

政策3に関する市民の評価（市民満足度）は、政策が実現されていると思う市民の割合が42%で、昨年度から2ポイント低下しました。まちづくり指標のうち、目標達成が2指標（現状を維持することを目標にしている2指標）、前進が6指標、後退が2指標、現状維持又は更新なしが3指標でした。

各施策におけるまちづくり指標の進捗や外部評価を踏まえながら、今後も施策の方向性に沿った取組を進めます。

**施策8** 交通事故件数及び刑法犯罪件数は減少しています。環境基準の達成率は維持しています。懇話会では防犯に関する意見がありました。

**施策9** 緊急情報の受信登録率及び防災訓練等実施率は上昇していますが、避難所運営委員会設置率は基準値から増減がなく、自主防災組織設置率は低下しています。

**施策10** 二酸化炭素排出量（市域全体）は基準値から増減しています。

**施策11** （家庭系）総排出量に占める資源物量の割合は更新していません。

**施策12** 消防施設等の整備率は変動がありませんが、現場での応急手当の実施率及び消防団員の充足率は上昇しています。

### 施策8 安全・安心な生活環境の整備

生活安全課

#### ● 施策の方向性

1 交通安全や防犯に対する意識の向上を図るとともに、地域や警察、関係団体等と連携し、交通事故や犯罪の未然防止や抑止につながる取組を推進します。

#### 《まちづくり指標》

交通事故件数					単位	件		
市内で発生した交通事故の件数（年間）					基準値	R3 334		
					目標値	R12 210		
実績値	R3	334	R4	380 ↓	R5	399 ↓	R6	277 ↑

刑法犯罪件数					単位	件		
市内で発生した刑法犯罪の件数（年間）					基準値	R3 527		
					目標値	R12 400		
実績値	R3	527	R4	571 ↓	R5	648 ↓	R6	634 ↑

2 環境保全の意識を高め、暮らしやすい生活環境を維持します。

#### 《まちづくり指標》

環境基準（地下水）の達成率			単位	%
地下水に設定されている環境基準の達成率（3月31日現在）			基準値	R3 100
			目標値	R12 100

実績値	R3	100	R4	100 ◎	R5	100 ◎	R6	100 ◎
-----	----	-----	----	-------	----	-------	----	-------

環境基準（騒音）の達成率						単位	%	
騒音に設定されている環境基準の達成率（3月31日現在）						基準値	R3 100	
						目標値	R12 100	
実績値	R3	100	R4	100 ◎	R5	100 ◎	R6	100 ◎

● 令和6年度の主な事業に係る成果

事業名	地下水保全基本計画推進事業
事業概要	地下水の水量と水質に関する計画的な管理と総合的な地下水保全施策を推進するための計画を策定する。
成果	座間市地下水保全基本計画の改定にあたって、地下水一斉調査、雨水浸透施設調査、湧水調査を実施した。

● 施策の実現に向けた現状の整理

目指す将来像と現状とのギャップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の犯罪抑止力は一定の設備が整っているものの、特殊詐欺犯罪の増加への対応が課題として残っている。</li> <li>交通安全に対する市民の意識には幅があり、教育や啓発の継続が望まれる状況である。</li> </ul>
今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全・安心な市民生活を支えるために、防犯灯などの防犯関連機器・設備の更新に努める。</li> <li>交通指導員については、交通安全の指導及び啓もうという本来の目的に沿った活動に重点を置き、事業内容を見直していく。</li> <li>地下水・騒音の現状把握及び異常の有無を確認するための調査を継続する。</li> <li>地下水について現状を調査・分析し、地下水保全基本計画を改定する。</li> </ul>

施策9 防災・減災 危機管理課

● 施策の方向性

1 防災・減災に対する啓発や訓練により、地域防災力を強化します。

《まちづくり指標》

緊急情報の受信登録率						単位	%			
市LINE公式アカウントの受信設定で防災・減災分野を登録している人の割合（4月1日現在）						基準値	R4 16.2			
						目標値	R12 100			
実績値	R3	—	R4	16.2	R5	17.6 ↑	R6	21.1 ↑	R7	21.2 ↑

防災訓練等実施率						単位	%
自主防災組織が設置されている単位自治会において、防災訓練等が実施されている割合（年間）						基準値	R3 16.4
						目標値	R12 100

実績値	R3	16.4	R4	39.4 ↑	R5	52.1 ↑	R6	52.5 ↑	
-----	----	------	----	--------	----	--------	----	--------	--

2 予測できない災害に備えて体制や基盤を整備し、災害対応力を強化します。

《まちづくり指標》

自主防災組織設置率						単位	%			
単位自治会のうち、自主防災組織が設置されている割合（4月1日現在）						基準値	R4 68			
						目標値	R12 100			
実績値	R3	—	R4	68 ↑	R5	73.6 ↑	R6	74.2 ↑	R6	72.6 ↓

避難所運営委員会設置率						単位	%			
避難所運営委員会が設置されている一次避難所の割合（4月1日現在）						基準値	R4 75			
						目標値	R12 100			
実績値	R3	75	R4	75 →	R5	75 →	R6	75 →	R7	75 →

● 施策の実現に向けた現状の整理

目指す将来像と現状とのギャップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発災時や発災の恐れがある場合の情報伝達については、市民への周知にまだ偏りがある状況にある</li> <li>・地域の防災活動への参加には偏りがあり、自主防災組織や避難所運営委員会が未設置となっている地域がある。</li> <li>・避難所の衛生環境や生活環境はスフィア基準に照らすと改善の余地がある状況である。</li> </ul>
今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な情報媒体を活用し、迅速かつ正確な情報発信に努める。</li> <li>・地域防災のリーダーとなる地域防災推進員の充実や、市民への講座等による普及啓発を行い、防災意識を向上させ、既存の自主防災組織の充実や自主防災組織設置率及び避難所運営委員会設置率の向上に努める。</li> <li>・スフィア基準に準拠して、避難所の衛生環境や生活環境の向上に資する資機材の充実に努める。また、導入した資機材や備蓄品の更新や維持管理を適切に行う。</li> </ul>

施策10 地球温暖化対策の推進 ゼロカーボン推進課

● 施策の方向性

1 廃棄物の減量を通じて、脱炭素社会の実現を目指します。

《まちづくり指標》

二酸化炭素排出量（市域全体）						単位	千 t-CO2	
市域で排出された二酸化炭素排出量換算による温室効果ガス排出量（年間）						基準値	H25 560.2	
						目標値	R12 298.9	
実績値	H30	470.8 ↑	R1	487.9 ↓	R2	455 ↑	R3	456.3 ↓

## 2 再生可能エネルギーの導入を推進し、脱炭素社会の実現を目指します。

### 《まちづくり指標》

〔再掲〕 二酸化炭素排出量（市域全体）	単位	
	基準値	
	目標値	

### ● 令和6年度の主な事業に係る成果

事業名	ゼロカーボン推進補助事業
事業概要	地球温暖化対策の一環として市民や事業者に対して補助金を交付する。
成果	事業者に対する電気自動車購入補助金や、店舗や事務所等への太陽光発電システム導入支援補助金を新たに開始し、省エネ、再エネ設備の導入を促進した。

### ● 施策の実現に向けた現状の整理

目指す将来像と現状とのギャップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設及び事業者に対して再エネ設備導入促進がすすんでいない。</li> <li>地球温暖化対策への関心には個人差があるため、十分に浸透していない。</li> </ul>
今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般廃棄物の減量化に向けて、生ごみ堆肥化事業として実施しているフードサイクルプロジェクトを広く市民が参加できる持続可能な取り組みにするため、引き続き事業スキームについてブラッシュアップを図り実施する。</li> <li>公共施設への再エネ・省エネ設備の導入も継続し、設備導入が困難施設は、低炭素電力への切替え促進など、設備導入以外の方法で脱炭素に取り組む。</li> <li>職員向け、企業向け脱炭素化研修や市民向けのごみ分別講座等により、職員、市民、事業者の意識向上を図る。</li> </ul>

## 施策11 資源循環の推進

リユース推進課

### ● 施策の方向性

#### 1 資源物を有効活用します。

### 《まちづくり指標》

（家庭系）総排出量に占める資源物量の割合				単位	%
家庭系ごみの年間総排出量に対する資源物回収量の割合（年間）				基準値	R3 33
				目標値	R12 40
実績値	R3 33	R4 32.4 ↓			

## 2 資源物の適正な分別を促し、効率的な処理を行います。

### 《まちづくり指標》

〔再掲〕（家庭系）総排出量に占める資源物量の割合	単位	
	基準値	
	目標値	

### ● 令和6年度の主な事業に係る成果

事業名	リユース・リサイクル推進事業
事業概要	廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び資源の有効な利用の促進に関する法律に基づき、家庭や事業所で不要になったものを資源として、効率よく分別収集し再利用する。
成果	家庭や事業所で不要になったものを資源として、効率よく分別収集し再利用に努めた。

### ● 施策の実現に向けた現状の整理

目指す将来像と現状とのギャップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙類やプラスチック類など、資源化可能な物がゴミに混入されている。</li> <li>ペーパーレスによる紙資源の減少、新聞店による自主回収、容器の軽量化等による資源物重量の減少、資源物の持ち去り等が目標達成に至らない要因と考えられる。</li> </ul>
今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>リサイクル率の向上に関して、市民への分別の徹底及びゴミの排出抑制等につながる情報提供、啓発などの施策を更に推進していくとともに、リユース・リサイクル品目の増加に向けた研究等を行っていく。</li> </ul>

## 施策12 消防力の強化

消防本部、消防署

### ● 施策の方向性

#### 1 消防の責務を十分に果たすため、消防力の充実強化を図り消防施設等を整備します。

### 《まちづくり指標》

消防施設等の整備率				単位	%			
消防力の整備指針に基づく消防施設等（車両）の整備率（3月31日現在）				基準値	R3	92.9		
				目標値	R12	100		
実績値	R3	92.9	R4	92.9 →	R5	92.9 →	R6	92.9 →

2 地域における安全・安心を確保するため、普通救命講習の実施や消防団員の充実強化を図ります。

《まちづくり指標》

現場での応急手当の実施率				単位	%			
重症傷病者などの救急搬送件数に対して救急車到着時に応急手当が実施されている件数の割合（年間）				基準値	R3	58		
				目標値	R12	100		
実績値	R3	58	R4	51 ↓	R5	52 ↑	R6	54 ↑

消防団員の充足率				単位	%					
消防団員の定員数に対する実員数の割合（4月1日現在）				基準値	R4	81.6				
				目標値	R12	100				
実績値	R3	85.7	R4	81.6 ↓	R5	81.6 →	R6	81.6 →	R7	82.5 ↑

● 令和6年度の主な事業に係る成果

事業名	県央東部消防指令業務共同運用事業
事業概要	指令センターの整備及び指令システム整備維持管理を行う。
成果	県央東部消防指令センターの運用に必要なシステム等の更新や維持管理に努めた。

● 施策の実現に向けた現状の整理

目指す将来像と現状とのギャップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防施設等の整備率については、消防車両や消防団車両を維持していくうえで、固有の財源確保が難しい。</li> <li>高齢化の進展等によって増加傾向である救急需要に対応する救急車の整備が十分に行えていない。</li> <li>現場での応急手当の実施率について、救命講習の重要性などの普及啓発が不足している。</li> <li>消防団員の充足率については、消防団員の重要性を認知されていないこと、ここ数年、消防団員の充足率が満たされていない状況。</li> </ul>
今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防施設等の整備率については、特定財源を活用し、消防車両等更新計画に基づき計画的に最新の機能を有した車両に更新する。また、救急需要の増加に対応するための充実強化を進める。</li> <li>現場での応急手当の実施率は、市民等に応急手当の必要性を十分理解していただくとともに普通救命講習などを積極的に開催するほか、効果的にAEDの活用が行えるような広報を通じ、救命率の向上に努める。</li> <li>消防団員の充足率は、消防団運営検討委員会などを通じ、消防団が抱えている諸問題を検討するとともに、市広報、SNSなどを活用し、消防団への入団促進を図り、災害対応能力を向上させる訓練を実施し、消防力の強化に努める。</li> </ul>

## 外部評価

- 市民満足度（市民の意識、活動等に関する調査）

### 政策3 安全・安心で環境にやさしいまちづくりが実現されていると思うか

	全体	思う	思わない	どちらでもない
回答者数	3,015人	1,263人	796人	956人
構成比	100%	42%	26%	32%

前年度：「思う」44%

- 現状や今後の方策に関する意見等

#### 防犯カメラ

- ・ 駅前に防犯カメラの設置が少ない。

## 政策4 健康に暮らせるまちづくり

健康に暮らせるまちづくりを実現するために、3施策と8のまちづくり指標を設定しています。

政策4に関する市民の評価（市民満足度）は、政策が実現されていると思う市民の割合が37%で、昨年度と同じ結果です。まちづくり指標のうち目標達成が2指標、前進が2指標、後退が4指標でした。

各施策におけるまちづくり指標の進捗や外部評価を踏まえながら、今後も施策の方向性に沿った取組を進めます。

**施策13** 救急医療が整備されていると感じる市民の割合及びがん検診受診件数は目標値を達成しています。懇話会では健康づくりの環境整備に関する意見がありました。

**施策14** 施設稼働率及び各事業の参加者数は低下及び減少しています。

**施策15** 図書等貸出資料数及び文化芸術事業の参加者数は減少しており、生涯学習事業の参加者数及び史料の整理点数は増加しています。

### 施策13 健康医療

健康医療課

#### ● 施策の方向性

1 心身ともに健康な生活が送れるよう健康づくりの環境整備や各種検(健)診体制の充実に努めます。

#### 《まちづくり指標》

がん検診受診件数					単位	件
本市が実施する各種がん検診の受診件数（年間）					基準値	R3 17,531
					目標値	R12 18,000
実績値	R3 17,531	R4 18,016 ◎	R5 17,602 ↓	R6 18,315 ◎		

救急医療が整備されていると感じる市民の割合					単位	%
アンケートで「夜間、休日等、医療機関の診療時間外に、必要な医療を受けることができると感じる」と回答した市民の割合（調査時点）					基準値	R4 46
					目標値	R12 50
実績値	R3 —	R4 46	R5 54 ◎	R6 58 ◎	R7 56 ◎	

#### ● 令和6年度の主な事業に係る成果

事業名	広域救急医療事業費
事業概要	綾瀬市（内科・外科・小児科）及び海老名市（小児科）と連携して、急病患者に対して迅速かつ的確に診療が受けられるよう、安定した医療体制を維持する。
成果	国による医師の働き方改革に伴い医師以外の医療従事者の負担が増えることから、救急医療体制を確保するため、二次救急医療機関の人件費を支援した。

● 施策の実現に向けた現状の整理

目指す将来像と現状とのギャップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市が主催する健康増進事業への参加者が少ない。</li> <li>・がん検診の受診件数が伸び悩んでいる。</li> </ul>
今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LINEを利用した健康ポイント施策「健康ざまイレージ」を活用し、市民が市の実施する事業に参加しやすい環境をつくることで、市民の健康意識を向上させる行動変容を促す。</li> <li>・今後、各種団体を通じた周知経路を確保するほか、市公式LINEを利用し、事業の対象となる層に効果的な情報を発信する。</li> <li>・がん検診の受診件数を伸展させるため、検診項目ごとに効果的な受診勧奨を行う。</li> </ul>

施策14 スポーツ スポーツ課

● 施策の方向性

1 市民や団体等が自主的に活動できるスポーツ環境づくりに取り組みます。

《まちづくり指標》

施設稼働率					単位	%
スポーツ施設の使用可能区分に対して、使用された区分の割合（年間）					基準値	R3 71
					目標値	R12 85
実績値	R3 71	R4 69 ↓	R5 67 ↓	R6 66 ↓		

各事業の参加者数					単位	人
本市が主催するスポーツイベント事業の参加者数（年間）					基準値	R3 2,182
					目標値	R12 4,500
実績値	R3 2,182	R4 4,022 ↑	R5 4,509 ↑	R6 4,392 ↓		

● 施策の実現に向けた現状の整理

目指す将来像と現状とのギャップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相模川グラウンド、市民球場及び新田宿グラウンド等は平日日中の稼働率が低い。</li> <li>・クレーのテニスコートは、雨天の影響を受けやすく、利用休止なることが多いため稼働数減少になる要因となっている。</li> </ul>
今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民球場や新田宿グラウンドは、原則野球での利用に限定しているが、空き時間等は様々なスポーツやスポーツイベントで利用できるように工夫を図る。</li> <li>・ひまわり公園テニスコートにクレーコートを4面設置しているが、オムニコートと比較すると利用率及び利用数が低く、また維持管理の手間もかかるため、クレーコートをオムニコートへの改修を検討する。</li> </ul>

● 施策の方向性

1 市民がいつでもどこでもだれでも学べる環境づくりに取り組みます。

《まちづくり指標》

図書等貸出資料数					単位	点
図書館、移動図書館、公民館等図書室の個人貸出数（年間）					基準値	R3 939,763
					目標値	R12 960,000
実績値	R3 939,763	R4 909,879 ↓	R5 849,586 ↓	R6 804,702 ↓		

生涯学習事業の参加者数					単位	人
市主催生涯学習事業の参加者数（年間）					基準値	R3 13,623
					目標値	R12 84,000
実績値	R3 13,623	R4 19,983 ↑	R5 21,824 ↑	R6 28,092 ↑		

2 市民が文化芸術に親しむ環境づくりに取り組みます。

《まちづくり指標》

文化芸術事業の参加者数					単位	人
市主催文化芸術事業の参加者数（年間）					基準値	R3 8,770
					目標値	R12 34,000
実績値	R3 8,770	R4 22,770 ↑	R5 19,198 ↓	R6 8,769 ↓		

3 郷土博物館の設置に向けて取り組みます。

《まちづくり指標》

史料の整理点数					単位	点
郷土資料の調査を進め、史料目録に記載が完了したもの（累計）					基準値	R3 2,729
					目標値	R12 17,600
実績値	R3 2,729	R4 4,692 ↑	R5 7,332 ↑	R6 10,711 ↑		

● 施策の実現に向けた現状の整理

<p>目指す将来像と現状とのギャップ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習事業の参加者やサークル・団体等の高齢化が進んでいる。</li> <li>・郷土資料の調査及び資料目録の整備等を進め、郷土博物館設置に向けた環境及び情報の整備が必要。</li> <li>・公民館3館では利用者が固定化され、新規及び若者層の利用が少ない。</li> <li>・地域や学校、各種団体との連携が限定的で継続性・発展性が工夫できていない。</li> <li>・公民館3館の老朽化が著しく進んでいる。</li> <li>・図書館貸出資料数の減少</li> <li>・図書館施設の老朽化</li> </ul>
<p>今後の取組方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題・社会問題をはじめとする市民ニーズを把握した講座等を企画し、参加者数の拡大を図るとともに、幅広い年齢層に対して生涯学習活動を広めていく。</li> <li>・郷土博物館の設立に向けて、資料の整理を進める。</li> <li>・地域学校協働活動において、社会教育団体の活躍の場を調整する。</li> <li>・公民館3館においては、施設点検や修繕等を計画的かつ包括的に行う必要がある。</li> <li>・市民のニーズに沿った図書館の蔵書の整備を進めるとともに、電子図書館や移動図書館のPRの強化、市内への返却ポスト設置により、図書館サービスの利便性向上を図り、市民の読書活動を推進する。</li> </ul>

外部評価

● 市民満足度（市民の意識、活動等に関する調査）

政策4 健康に暮らせるまちづくりが実現されていると思うか

	全体	思う	思わない	どちらでもない
回答者数	3,015人	1,106人	804人	1,105人
構成比	100%	37%	27%	37%

前年度：「思う」37%

● 現状や今後の方策に関する意見等

健康づくりの環境整備

- ・近隣市では予防接種を受ける際に無料だが、座間市では自己負担が求められる。

## 政策5 共に認め合い、支え合うまちづくり

共に認め合い、支え合うまちづくりを実現するために5指標と10のまちづくり指標を設定しています。

政策5に関する市民の評価（市民満足度）は、政策が実現されていると思う市民の割合が22%で、昨年度から1ポイント低下しました。まちづくり指標のうち、目標達成が2指標、前進が4指標、後退が2指標、更新なしが2指標でした。

各施策におけるまちづくり指標の進捗や外部評価を踏まえながら、今後も施策の方向性に沿った取組を進めます。

**施策16** 災害時避難行動要支援者個別支援計画書の策定率は目標値を達成し、成年後見制度利用支援事業実施件数及び支援計画作成件数は増加していますが、地域福祉活動に参加している市民の割合は低下しています。

**施策17** 認知症サポーターの養成者数（累計）は増加していますが、生きがいを感じている高齢者の割合は更新していません。懇話会では高齢者の生きがいに関する意見がありました。

**施策18** 要介護状態等の維持・改善率は目標値を達成しています。

**施策19** 施設入所者の地域生活移行者数は増加しており、相談支援の満足度は更新していません。

**施策20** 新規就労者数は減少しています。

### 施策16 地域福祉

地域福祉課

#### ● 施策の方向性

1 権利擁護の充実のため、成年後見制度の利用促進に取り組みます。

《まちづくり指標》

成年後見制度利用支援事業実施件数				単位	件
後見人等に対する報酬助成を行った件数（年間）				基準値	R3 36
				目標値	R12 50
実績値	R3 36	R4 42 ↑	R5 37 ↓	R6 42 ↑	

2 地域の多様な主体が役割や特徴を最大限に発揮しながら、活動できるよう取り組みます。

《まちづくり指標》

災害時避難行動要支援者個別支援計画書の策定率				単位	%
災害時避難行動要支援者名簿の登録者に対する個別支援計画の策定率（3月31日現在）				基準値	R3 0
				目標値	R12 100
実績値	R3 0	R4 100 ◎	R5 100 ◎	R6 100 ◎	

地域福祉活動に参加している市民の割合				単位	%
アンケートで「現在参加している」「現在参加していないが、過去に参加したことがある」と回答した市民の割合（調査時点）				基準値	R4 31
				目標値	R12 56
実績値	R3 —	R4 31	R5 35 ↑	R6 37 ↑	R7 35 ↓

### 3 複雑化・多様化する課題に対し、包括的に支援できる仕組みをつくりま

#### 《まちづくり指標》

支援計画作成件数					単位	件
生活困窮者に対する支援計画の作成件数（年間）					基準値	R3 245
					目標値	R12 250
実績値	R3 245	R4 74 ↓	R5 111 ↑	R6 136 ↑		

#### ● 施策の実現に向けた現状の整理

目指す将来像と現状とのギャップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会環境の変化に伴い、地域福祉の根幹とされる支えの脆弱化が進み、社会とのつながりが弱い人（社会的孤立）や複数リスクを抱える人・世帯（リスクの複合化）が増加傾向にある。</li> <li>・地域共生社会の実現に向けた推進体制が確立できていない。</li> </ul>
今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度に策定予定の座間市地域福祉計画（仮称）に、令和6年度に設置した包括的支援体制推進委員会をはじめとする地域福祉課で進めてきた地域共生社会や全庁的な包括的支援に関する取組などを位置づけ、令和8年度以降は地域福祉計画推進事業を強化し、既存事業の包括化を進めることで施策の実現（まちづくり指標の目標達成）を図る。</li> </ul>

### 施策17 高齢者の支援

長寿支援課

#### ● 施策の方向性

#### 1 関係機関や地域と連携し、高齢者が自立して生活できるように支援します。

#### 《まちづくり指標》

認知症サポーターの養成者数（累計）					単位	人
認知症サポーター養成講座を受講した人数（累計）					基準値	R3 6,171
					目標値	R12 9,200
実績値	R3 6,171	R4 7,205 ↑	R5 8,114 ↑	R6 8,792 ↑		

生きがいを感じている高齢者の割合					単位	%
アンケートで「生きがいを感じている」と回答した高齢者の割合（調査時点）					基準値	R1 81.7
					目標値	R12 91
実績値	R3 —	R4 79 ↓	R5 —	R6 —		

● 施策の実現に向けた現状の整理

目指す将来像と現状とのギャップ	・高齢者が増加する中、認知症の方の人数も増加が見込まれる。認知症に対する理解を広めていくことにより、住み慣れた地域で生活続けることの一助となるため、認知症サポーター等が増えるよう、取組を進めていく必要がある。
今後の取組方策	・国、県の動向にも注視しながら、座間市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画に基づき、高齢者が住み慣れた地域で自らの望む生活が送れるよう取り組んでいく。

施策18 介護保険 介護保険課

● 施策の方向性

1 超高齢社会を迎える中で、安定的で持続可能な介護保険事業の運営を行います。

《まちづくり指標》

要介護状態等の維持・改善率				単位	%			
要介護及び要支援認定者の介護状態が維持又は改善できている割合(年間)				基準値	R3	70.23		
				目標値	R12	71		
実績値	R3	70.23	R4	68.48 ↓	R5	69.8 ↑	R6	71.95 ◎

2 要介護者等が、本人の有する能力に応じて、日常生活を維持するために必要な介護サービスを提供します。

《まちづくり指標》

〔再掲〕要介護状態等の維持・改善率				単位		
				基準値		
				目標値		

● 施策の実現に向けた現状の整理

目指す将来像と現状とのギャップ	・要介護（要支援）認定者数については、年々増加傾向にあり、介護サービスの需要が伸び、介護給付費も増加傾向になることが予想される。
今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第9期介護保険事業計画において介護施設の整備及び介護人材の確保を重点事項としているので、介護施設の整備については、当該事業計画に沿って整備し、介護人材の確保については、ケアマネジャー等の人材等確保を目標とする。</li> <li>・本市が作成する座間市自立支援・重度化防止に向けたケアマネジメント基本方針をホームページ掲載により周知し、ケアマネジメントの質の向上を図ることで、指標項目の目標値達成を目指す。</li> </ul>

● 施策の方向性

1 関係機関や地域と連携し、障がい者が自立して生活できるように支援します。

《まちづくり指標》

施設入所者の地域生活移行者数					単位	人
障がい者施設を退所して地域生活に移行した障がい者の人数（累計）					基準値	R3 0
					目標値	R12 5
実績値	R3 0	R4 0 →	R5 0 →	R6	2 ↑	

相談支援の満足度					単位	%
障がい者等の福祉に関する相談支援の利用者満足度（調査時点）					基準値	R1 73
					目標値	R12 78
実績値	R3 —	R4 77 ↑	R5 —	R6	—	

2 障がいに対する理解の普及啓発を行います。

《まちづくり指標》

〔再掲〕施設入所者の地域生活移行者数		単位
		基準値
		目標値

● 施策の実現に向けた現状の整理

目指す将来像と現状とのギャップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域生活支援拠点の整備、道路、建物などのバリアフリー化などの環境整備、市民との交流、社会参加の促進、就労整備などの障がい者の社会参加・交流、ボランティア育成、地域支援体制の構築などの障がいや障がい児者への理解促進などに課題がある。</li> </ul>
今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国、県の動向にも注視しながら、座間市障害者計画、第七期障害福祉計画・第三期障害児福祉計画に基づき障がい児者が住み慣れた地域で自らの望む生活が送れるよう取り組んでいく。</li> <li>・共生社会を実現するため、障がい児者として障害者手帳取得者に限らず対象を拡大して捉え、必要に応じて事業展開を図る。</li> </ul>

● 施策の方向性

1 生活保護世帯や生活困窮者の自立を支援し、生活の安定に努めます。

《まちづくり指標》

新規就労者数				単位	人
生活保護世帯で新規就労に至った受給者の人数（年間）				基準値	R3 53
				目標値	R12 58
実績値	R3 53	R4 56 ↑	R5 63 ◎	R6 57 ↓	

● 施策の実現に向けた現状の整理

目指す将来像と現状とのギャップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談及び申請件数の増加などにより、支援の根幹である訪問調査活動が十分に行えていないことから被保護世帯の自立に向けた課題に気づきにくい現状。</li> <li>・支援対象者の複雑化した生活課題の解決が必要な場合や離職期間が長いなど様々な理由により、すぐに就労支援の実施が困難な場合がある。</li> </ul>
今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現業員の訪問調査活動の確実な実施に向けて、DX推進による生活保護事務の効率化やその他事務の効率化、各事業との連携により被保護世帯の自立に向けた支援に取り組む。</li> <li>・日常生活や社会生活の自立に関する支援から、就労体験を行いつつ就労に向けた技法や知識の習得等を促すといった就労準備支援事業を継続して実施し、就労可能と判断されるものについては、新規就労につなげることを目指す。なお、生活困窮者自立支援事業とも連携し、切れ目のない支援に取り組む。</li> </ul>

外部評価

● 市民満足度（市民の意識、活動等に関する調査）

政策5 共に認め合い、支え合うまちづくりが実現されていると思うか

	全体	思う	思わない	どちらでもない
回答者数	3,015人	663人	943人	1,409人
構成比	100%	22%	31%	47%

前年度：「思う」23%

● 現状や今後の方策に関する意見等

高齢者の生きがい

- ・空き家などを活用することで、高齢者の活躍の場が広がるようなことも考えられる。居場所を提供していくことを考える必要がある。

## 政策6 緑あふれる快適なまちづくり

緑あふれる快適なまちづくりを実現するために5指標と10のまちづくり指標を設定しています。

政策6に関する市民の評価（市民満足度）は、政策が実現されていると思う市民の割合が53%で、昨年度から3ポイント低下しました。まちづくり指標のうち、目標達成が1指標、前進が4指標、後退が1指標、現状維持が4指標でした。

各施策におけるまちづくり指標の進捗や外部評価を踏まえながら、今後も施策の方向性に沿った取組を進めます。

**施策21** コミュニティバスの利用者数は目標値を達成していますが、景観重要公共施設の指定数は基準値から増減していません。懇話会では快適なまちづくりに関する意見がありました。

**施策22** 管理不全な状態の空き家の数は減少していますが、再開発事業数は基準値から増減がありません。懇話会では空き家の活用に関する意見がありました。

**施策23** 一人当たりの都市公園面積は増減しておらず、公園等の維持管理団体数は減少しています。

**施策24** 都市計画道路の整備率は基準値から増減していませんが、橋りょうの修繕率は上昇しています。

**施策25** 配水管布設替工事延長及び公共下水道（汚水）接続率の指標は増加及び上昇しています。

### 施策21 都市計画

都市計画課

#### ● 施策の方向性

1 地域特性に配慮した土地利用とともに、良好な景観を形成します。

《まちづくり指標》

景観重要公共施設の指定数					単位	件
座間市景観条例に基づく景観重要公共施設に指定している公共施設数 (3月31日現在)					基準値	R3 6
					目標値	R12 13
実績値	R3 6	R4 6 →	R5 6 →	R6 6 →		

2 公共交通ネットワークの維持及び輸送力の向上を図ります。

コミュニティバスの利用者数					単位	人
市内コミュニティバスの利用者数（年間）					基準値	R3 136,542
					目標値	R12 142,985
実績値	R3 136,542	R4 154,405◎	R5 165,686◎	R6 176,844◎		

● 令和6年度の主な事業に係る成果

事業名	コミュニティバス運行事業
事業概要	公共交通網の補完的役割を果たすとともに、高齢者や障がい者など移動に制約のある人を含む、市民の日常の交通手段を確保する。
成果	コミュニティバスの年間利用者数は過去最多を更新した。また、バスロケーションシステム・乗降客カウントシステムの導入により利便性を向上させたほか、今後の運行見直し検討に必要な乗降データを収集した。

● 施策の実現に向けた現状の整理

目指す将来像と現状とのギャップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域特性に応じた土地利用</li> <li>・コミュニティバスなど地域公共交通に対するニーズ変化への対応や分析</li> <li>・公共交通ネットワークの維持</li> </ul>
今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画図の基本となる地形図（基本図）を修正し都市計画基礎調査の基礎とともに土地資産の保全をすることで地籍の明確化を図る。</li> <li>・コミュニティバスの利用実態の把握し、見直しの検討をする。</li> <li>・市内における地域交通全体の課題等を整理し、対策の検討を進める。</li> </ul>

施策22 市街地整備 都市整備課

● 施策の方向性

1 良好な市街地環境の形成に取り組みます。

《まちづくり指標》

管理不全な状態の空き家の数						単位	件	
本市が把握している空き家のうち管理不全な状態となっている空き家の数（3月31日現在）						基準値	R2 101	
						目標値	R12 50	
実績値	R3	137 ↓	R4	117 ↑	R5	125 ↓	R6	76 ↑

再開発事業数						単位	事業	
再開発事業の工事の完了数（累計）						基準値	R3 4	
						目標値	R12 5	
実績値	R3	4	R4	4 →	R5	4 →	R6	4 →

● 令和6年度の主な事業に係る成果

事業名	空き家等対策事業
事業概要	総合的かつ計画的な空き家等対策の推進、空き家等の状況に応じた的確な対応を可能とする環境の整備、連携体制を構築する。
成果	空き家所有者の特定・交渉を外部委託、また、空家等管理活用支援法人を指定し専門的な相談窓口を設置することで、管理不全な状態の空き家数の減少に努めた。

● 施策の実現に向けた現状の整理

目指す将来像と現状とのギャップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理不全空き家の所有者に対し、助言や指導以外の方法を十分に実施できていない。</li> <li>・土地の高度利用及び都市再生推進の計画策定のためのより具体的な検討が遅れている。</li> </ul>
今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助言や指導以外の方法や空き家バンクの設置を促進していく。</li> <li>・まちづくりの方向性と優先順位を明確にし、体系的、かつ、具体的な計画の策定を目指す。</li> </ul>

施策23 公園緑政 公園緑政課

● 施策の方向性

1 市民等との協働による公園、広場等の整備、維持管理を行うとともに、緑地、樹林地等の保全に努めます。

《まちづくり指標》

一人当たりの都市公園面積					単位	㎡				
本市の総人口に対する市民一人当たりの都市公園面積（4月1日現在）					基準値	R4	5.08			
					目標値	R12	5.17			
実績値	R3	4.88	R4	5.08 ↑	R5	5.07 ↓	R6	5.08 ↑	R7	5.08 →

公園等の維持管理団体数					単位	団体				
市民、関係団体による公園等の維持管理団体数（4月1日現在）					基準値	R4	31			
					目標値	R12	39			
実績値	R3	31	R4	31 →	R5	31 →	R6	38 ↑	R7	37 ↓

● 令和6年度の主な事業に係る成果

事業名	公園等管理運営
事業概要	除草、清掃、維持修繕を基本として、公園施設の管理をする。
成果	スカイグリーンパーク・大坂台公園の管理運営に指定管理者を指定することによって、事業者が持っているノウハウを活用し、市民ニーズに対応することができた。

● 施策の実現に向けた現状の整理

目指す将来像と現状とのギャップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市が管理する公園・広場の管理費は、開発工事に伴う提供公園や人件費の上昇に伴い年々増加している。</li> </ul>
今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園の統廃合計画策定を目指す。</li> </ul>

● 施策の方向性

1 安全で快適な道路の整備、維持管理に取り組みます。

《まちづくり指標》

都市計画道路の整備率					単位	%
都市計画道路の優先整備路線（座間南林間線、緑ヶ丘林間線）整備率（3月31日現在）					基準値	R3 54.6
					目標値	R12 71.4
実績値	R3 54.6	R4 54.6 →	R5 54.6 →	R6 54.6 →		

橋りょうの修繕率					単位	%
橋りょう長寿命化修繕計画に基づく修繕率（3月31日現在）					基準値	R3 22.2
					目標値	R12 100
実績値	R3 22.2	R4 22.2 →	R5 22.2 →	R6 33.3 ↑		

● 令和6年度の主な事業に係る成果

事業名	座間南林間線道路改良事業
事業概要	都市計画道路3・4・5号座間南林間線の未整備区間の整備をする。
成果	事業用地の取得や鉄道交差部の詳細設計、関係機関との協議など、道路改良事業を着実に推進した。

事業名	道路台帳整備事業費
事業概要	道路台帳システムの更新、構築をする。
成果	道路情報管理システムを導入し、紙媒体を電子化したことなどによって、利便性が向上したほか、職員の業務効率化につながった。

● 施策の実現に向けた現状の整理

目指す将来像と現状とのギャップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路の整備、道路施設等の維持には、人員不足や技術力不足とともに人件費の上昇、材料費の高騰などが起きている。</li> <li>近年の異常気象により、草の繁茂が早く街路樹剪定、除草作業の回数が増加している。</li> <li>道路台帳の情報管理が不十分。</li> </ul>
今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>限りある人材と財源を有効に活用するため、事業の優先度を明確にする。</li> <li>積極的に外部委託を行うなど、民間活用や外部機関等との連携を検討する。</li> <li>適切な情報管理及び正しい情報を提供するために、道路台帳等の管理手法を検討する。</li> </ul>

● 施策の方向性

1 水道水を安定的に供給するとともに、次世代へおいしい座間の水をつなぎます。

《まちづくり指標》

配水管布設替工事延長					単位	km
老朽化した配水管の布設替工事延長（累計）					基準値	R3 3.3
※ 本指標は令和5年4月を0 kmとして、毎年度3.3 kmの布設替延長工事を目標とするものです。					目標値	R12 26.4
実績値	R3	—	R4	—	R5	3.7 ↑
					R6	7.2 ↑

2 公共下水道の整備に取り組みます。

公共下水道（污水）接続率					単位	%
市域の公共下水道（污水）の接続率（3月31日現在）					基準値	R3 97.5
					目標値	R12 100
実績値	R3	97.5	R4	97.9 ↑	R5	98 ↑
					R6	98.1 ↑

● 施策の実現に向けた現状の整理

目指す将来像と現状とのギャップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>配水管布設替工事延長の目標達成</li> <li>将来的な事業継続のための技術者の確保</li> </ul>
今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化した配水管の布設替工事を年間3.3km以上実施する。</li> <li>官民連携の推進や工事発注の工夫により、効率的な経営を目指す。</li> </ul>

外部評価

● 市民満足度（市民の意識、活動等に関する調査）

政策6 緑あふれる快適なまちづくりが実現されていると思うか

	全体	思う	思わない	どちらでもない
回答者数	3,015人	1,613人	808人	594人
構成比	100%	53%	27%	20%

前年度：「思う」56%

● 現状や今後の方策に関する意見等

快適なまちづくり

- 道路は渋滞が多いと言われるが、電車利用の側面から考えると住む環境は良いと言える。この便利さを活かして住みやすい町を目指す必要がある。

- ・ 近隣市は都市開発を進めている一方、座間市はそうでもなく、マンションやアパートが建つことはなく、空地がたくさんある。特に駅周辺の場合は好アクセスであるのにもったいない。近隣市の動きについていくべきではないか。

#### 良好な市街地環境の形成

---

- ・ 子どもや高齢者の居場所づくりという点で、市民、企業との連携で空き家を活用する仕組みができると良い。

## 政策7 持続可能な行財政運営

持続可能な行財政運営を実現するために7指標と8のまちづくり指標を設定しています。

政策7に関する市民の評価（市民満足度）は、政策が実現されていると思う市民の割合が39%で、昨年度から4ポイント減少しました。まちづくり指標のうち、目標達成が2指標、前進が4指標、後退が1指標、増減なしが1指標でした。

各施策におけるまちづくり指標の進捗や外部評価を踏まえながら、今後も施策の方向性に沿った取組を進めます。

**施策26** 全まちづくり指標の平均達成率は低下しています。懇話会ではごま未来プランの認知度に関する意見がありました。

**施策27** 市ホームページの閲覧件数は目標達成しています。

**施策28** 基地の存在が負担だと思う市民の割合は変動していません。

**施策29** オンライン手続数は増加しています。懇話会ではデジタル技術に関する意見がありました。

**施策30** 人権講演会や研修会への参加者数は目標値を達成し、審議会等の女性委員の割合は増加しています。

**施策31** 財政構造の弾力性を表す経常収支比率は改善しています。懇話会では次世代への資産の継承に関する意見がありました。

**施策32** 公共施設再整備計画進捗率は上昇しています。

### 施策26 行政経営

総合政策課

#### ● 施策の方向性

1 多様な主体と連携、協力しながら持続可能な行政経営を行います。

《まちづくり指標》

全まちづくり指標の平均達成率					単位	%				
ごま未来プランの全まちづくり指標の平均達成率（調査時点）					基準値	R2	18			
					目標値	R12	100			
実績値	R3	—	R4	—	R5	13 ↓	R6	15.9 ↑	R7	14.7 ↓

#### ● 施策の実現に向けた現状の整理

目指す将来像と現状とのギャップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 限りある人材と財源を有効に活用するため、事業の優先度を明確にする。</li> <li>・ 積極的に外部委託を行うなど、民間活用や外部機関等との連携を検討する。</li> <li>・ 計画策定後に生じている社会問題や地域課題への対応</li> </ul>
今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ごま未来プランの認知度向上と内容の理解を促進する。</li> <li>・ 職員が閲覧可能なデータベースの利用を促進する。</li> <li>・ ごま未来プラン基本構想中間見直しの検討</li> </ul>

● 施策の方向性

1 多様な媒体を活用し、迅速かつ正確で分かりやすい情報発信を行います。

《まちづくり指標》

市ホームページの閲覧件数				単位	件
市ホームページの閲覧件数（年間）				基準値	R1 4,425,125
				目標値	R12 5,000,000
実績値	R3 7,982,446◎	R4 7,258,913◎	R5 4,922,000↓	R6 5,243,090◎	

● 施策の実現に向けた現状の整理

目指す将来像と現状とのギャップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>市からの情報発信の基盤が市ホームページであることの庁内周知が不十分。</li> <li>広報紙や SNS から市ホームページへの誘導が不十分。</li> </ul>
今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>市からの情報発信について庁内周知を行い、理解を深める。</li> <li>「詳しくは市ホームページへ」などの文言を掲載し、誘導を行う。また、市LINE公式アカウントセグメント配信でZAMA NEWS方式の情報発信を活発化させ、SNS・ホームページを連携させた情報発信を推進する。</li> </ul>

● 施策の方向性

1 キャンプ座間の整理、縮小、返還及び負担軽減策等の推進を求めます。

《まちづくり指標》

基地の存在が負担だと思ふ市民の割合				単位	%
アンケートで「基地の存在が負担だと感じたことがある」と回答した市民の割合（調査時点）				基準値	R4 26
				目標値	R12 13
実績値	R3 —	R4 26	R5 28 ↓	R6 25 ↑	R7 25 →

2 厚木基地において空母艦載機着陸訓練等の激しい騒音を伴う訓練が行われないうように求めます。

〔再掲〕基地の存在が負担だと思ふ市民の割合		単位
		基準値
		目標値

● 施策の実現に向けた現状の整理

目指す将来像と現状とのギャップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>国防施策として、座間市内に在日米陸軍基地及び陸上自衛隊座間駐屯地が設置されているが、基地は、外交、防衛に関わる事項であり、国の専管事項として日米両国が国と国との間で適切な対応を行うものであることから、調整が非常に困難。</li> </ul>
今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>基地の整理、縮小、返還や基地が存在することによる市民の負担を軽減するために、県、各基地関係市と協力し、国等に適時適切に要望活動を行うことや、市と国（防衛省）とで構成している協議会において必要に応じ協議し理解を求めるなど、抜本的解消、また、基地の負担軽減策のための取組みを進める。</li> </ul>

施策29 デジタル化推進 デジタル推進課

● 施策の方向性

1 デジタル化を推進します。

《まちづくり指標》

オンライン手続数						単位	項目
スマートフォン等からのオンライン手続が可能な申請などの項目数(4月1日現在)						基準値	R4 60
						目標値	R12 100
実績値	R3 39	R4 60 ↑	R5 79 ↑	R6 87 ↑	R7 98 ↑		

● 令和6年度の主な事業に係る成果

事業名	デジタルトランスフォーメーション（DX）推進事業
内容	座間市DX推進計画に基づき、デジタルトランスフォーメーションの推進をする。
成果	デジタルデバйд対策として、スマホ教室等を実施した。また、民間事業者と連携協定を締結し、フロントヤード改革（スマート窓口）実現に向けた空間デザインに関する複業人材を2名登用した。

● 施策の実現に向けた現状の整理

目指す将来像と現状とのギャップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>少子高齢化や市民のライフスタイルが多様化するにつれて、行政の在り方についても変革が求められている。</li> <li>デジタルに馴染みが薄い方や、苦手意識を持つ方への対応。</li> </ul>
今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルデバйд対策(広域での実施)</li> <li>手続き、説明、相談窓口のオンライン化及び行政側システムの標準化</li> <li>書かない窓口の実現</li> <li>予約・事前提出による窓口滞在時間の短縮</li> </ul>

● 施策の方向性

1 誰もが個性や能力を発揮して活躍できる社会の実現に向けて取り組みます。

《まちづくり指標》

審議会等の女性委員の割合						単位	%
審議会等に委嘱をしている委員に対する女性委員の割合（4月1日現在）						基準値	R4 38
						目標値	R12 50
実績値	R3 37.2	R4 38 ↑	R5 39.5 ↑	R6 39.3 ↓	R7 39.7 ↑		

人権講演会や研修会への参加者数						単位	人
市主催の人権に関連した講演会や研修会への参加者数（年間）						基準値	R3 333
						目標値	R12 600
実績値	R3 333	R4 607 ◎	R5 958 ◎	R6 1,431 ◎			

● 施策の実現に向けた現状の整理

目指す将来像と現状とのギャップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 審議会等の女性委員の割合について、目標値を50%としているが、ここ10年ほぼ横ばい（36～39%台）の状態が続いており、女性委員の登用が進んでいないこと。</li> <li>・ 在住外国人が生活する上で必要な情報が行き渡っていないことで、在住外国人の社会的孤立につながっている。</li> </ul>
今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まちづくり指標について、既存の水準を守りながら更なる向上を促すため、一般市民を対象にした公募制の導入や、関係団体への委員の推薦を依頼する際には、肩書にとらわれず積極的に女性を選出してもらうよう引き続き働きかけを行うとともに、職員や市民、企業・団体に対し、継続的に男女共同参画の意識啓発を行う。</li> <li>・ 在住外国人に対し、効果的に情報が行き渡る方法及び手段で情報提供を行い、職員及び市民の多文化理解に係る意識向上のための研修を実施する。</li> </ul>

● 施策の方向性

1 中長期的展望に立った財政見通しの下、社会情勢や実施計画と連動し、複雑化、多様化する市民ニーズに対応した効率的な予算編成に努めます。

《まちづくり指標》

経常収支比率					単位	%
財政構造の弾力性を表す数値（3月31日現在）					基準値	R3 93
					目標値	R12 80
実績値	R3 93	R4 99.4 ↓	R5 99.4 →	R6 96.4 ↑		

● 施策の実現に向けた現状の整理

目指す将来像と現状とのギャップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経常的経費の割合が高く、歳入の急増を見込むことは困難である。</li> <li>・ 予算編成や予算執行のそれぞれにおいて、市全体での意識の変化と歳出の抑制が必要である。</li> </ul>
今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予算編成後の適切な執行管理と並行した経常的な経費の見直しを継続する。また予算決算のPDCAの中で臨時的経費、経常的経費の振り分けを再精査する。</li> </ul>

● 施策の方向性

1 良質な資産を次世代に継承します。

《まちづくり指標》

公共施設再整備計画進捗率					単位	%
座間市公共施設再整備計画に基づく大規模改修などの進捗率（3月31日現在）					基準値	R3 17
					目標値	R12 100
実績値	R3 17	R4 30 ↑	R5 39 ↑	R6 44 ↑		

● 令和6年度の主な事業に係る成果

事業名	ファシリティマネジメント推進事業
事業概要	市保有施設を良質な資産として次世代へ継承する。
成果	包括施設管理業務委託の導入により、公共施設等の維持管理水準の向上、業務の効率化等を進めました。また、社会情勢の変化等を反映するため、座間市公共施設再整備計画の見直しに着手した。

● 施策の実現に向けた現状の整理

目指す将来像と現状とのギャップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座間市公共施設再整備計画の実現に向け、全庁的に統一した理解のもと遂行していく必要がある。</li> <li>・既存施設については適正な管理を行い、良質な施設維持に努める必要がある。</li> </ul>
今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・包括施設管理業務委託及び公共施設マネジメントシステムで得られたデータを活用し、令和7年6月に改定した座間市公共施設再整備計画に沿って取り組む。</li> <li>・包括施設管理業務委託により、良質な施設維持を施設所管所属等と受託者で取り組む。</li> </ul>

外部評価

● 市民満足度（市民の意識、活動等に関する調査）

政策7 持続可能な行財政運営が実現されていると思うか

	全体	思う	思わない	どちらでもない
回答者数	3,015人	1,182人	754人	1,079人
構成比	100%	39%	25%	36%

前年度：「思う」43%

● 現状や今後の方策に関する意見等

持続可能な行政経営

- ・ ざま未来プランやその取組についての市民の認知を広めることが、満足度などの評価や市民参加の意識向上に対して良い影響を与えられられる。
- ・ 蓄積されたデータを見るだけでなく、一歩踏み込んだ分析をし、行政経営に活用する必要がある。

効果的な情報発信とデジタル技術の活用

- ・ 市LINE公式アカウントの友だち登録者数は非常に多く、貴重な資源といえる。この仕組みを有効に活用することで広報として機能だけでなく、市のPRや政策の推進に生かすことができると考えられる。

良質な資産の次世代への継承

- ・ 平成に建てられ老朽化した施設の改修・修繕が本格的に動き出してきた印象を受けている。